



伊那弥生ヶ丘高校同窓会報

平成 27 年 7 月 10 日発行

第 6 号



ご挨拶

同窓会長 小坂 博子

会員の皆様、平素は同窓会活動へのご理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

母校では 104 年の歴史と伝統のもと、時代も人も変わりましたが、先輩の方々から脈々と繋いできた大切な学び舎の絆、母校をとりまく桜の古木、校門から続く銀杏の並木は今年も見事な若葉が萌ぎ、未来へ続く歴史の重みを伝えていきます。

さて、同窓会も 24 年度より会費制を導入させていただき 4 年目を迎えます。役員及び会員の皆様の多大なるご理解とご協力をいただきまして、大変多くの会費をいただくことができました。

皆様の大切なお気持ちに伝えられますよう、母校の活動支援、同窓会活動の充実を図りながら、さまざまなご意見を尊重し、充分検討し、より多くの会員の皆様にご理解いただける同窓会となるべく努力してまいりたいと思っておりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

末筆ながら皆様のさらなるご健勝を心より祈念申し上げます挨拶とさせていただきます。



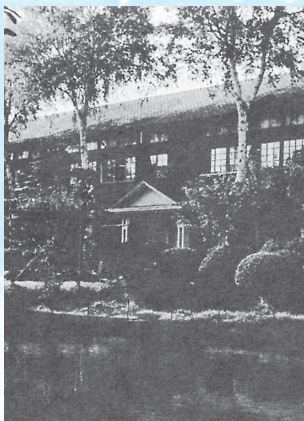
名実ともに、ナンバーワンを目指す！

学校長 矢澤 要輔

この 4 月より、松川高校より赴任いたしました。出身は箕輪町松島です。名前は、要（かなめ）となって輔（たすける）に由来し、真面目に堅実を旨として、明るく前向きに務めてきました。104 年の歴史と伝統のある弥生ヶ丘の第 30 代校長を務めさせていただくことは、身の引き締まる思いで一杯でございます。

「自主自律、文武両道」を校是に、判断力、創造力を備えた教養ある人間に成長して欲しいと思います。朝の 7 時半から楽器の音色や歌声、そして元気な掛け声が聞こえてきます。弥生の学び舎の穏やかな一日のスタートです。

「長野県の高校」というサイトの総合ランキングで、本校は県内一位にランク付られています。中学生の高校受験の偏差値や学校の安心度やクラブ活動の活躍、学校生活の充実さなどが加算されているものです。人気投票的な要素からできたものかもしれません。しかし、野球部は春季県大会でベスト 8・シード権を獲得、南信総体で、テニス女子は 5 期連続優勝、陸上女子は学校対抗 37 年ぶり優勝など着実に力を発揮しています。弥生は、県下一さらに全国一の学校づくりに頑張っております。



正面玄関（昭和46年撮影）

一 高嶺そひやく伊那の丘
千歳の秋の根をしめて
霜にひるまぬ勁節の
力にめくむ乙女草

二 故きを温ね新しき
ゆかりの水にうるほひて
間なく時なき修練の
まことを咲くや乙女花

（大正十年作）

小沢多田市 作詞
清水 勝蔵 作曲
川口 耕平 編曲

伊那弥生ヶ丘高等学校 — 第二校歌 —

今年度当番生より



懐かしい友と



学校クラブの活躍を紹介しました



初めての美術展

◇目標を持って努力すること

向山敏恵 (高校26回)

平成27年度の伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会総会当番学年として、懇親会企画運営に携わらせていただきました。

同窓会主催講演会では、登山家の田部井淳子先生の若々しくパワフルなお話から、目標をもって生きることの大切さを学び、参加者100人以上になった懇親会では、気分はすっかり高校生に戻ったかのように、共に学び過ごした日々を懐かしみながら笑顔で語り合い、楽しいひとときを過ごすことができました。また今年度は、例年演奏を披露してくれる器楽部に加え、音楽部、美術部、華道部の在校生の皆さんの参加により、在校生と同窓生が一体となりぬくもりが伝わる会になったように感じます。

目標(楽しみ)を持つ(見つける)、それに向かって努力する、常に正しく世の中を見ることが出来る大人として生きていく、ということは、今回準備を進める中で同窓生の皆様からも学ばせていただきました。特に何事にも熱意と意欲を持って懇親会を組み立ててくださった小池さん(26回生)、松井さん(36回生)をはじめ、各クラス代表の皆様方には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

これからも在校生が安心して学業やスポーツに専念でき、かけがえのない豊かな高校生活を送ることができるよう、私たち同窓生は親交を深めながら、力強い応援団であり続けていきたいものです。

思い出の一日に…

◇ソフトボール 唐沢敏和 (高校36回)

私は高校時代、ソフトボール部に所属してました。当時は県内に8チームあったんですが、現在は2チームしか無いみたいですね。残念なことです。

高校にソフトボール部があったお陰で、私は今でもソフトボールを楽しんでいます。しかも、今年からピッチャーを始めました。まだまだコントロールがつかず、試合でもたくさんフォアボールを出してしまい、今ひとつ苦労しておりますが、塩尻の市民体育祭チームに他に投げられる人が居ませんので、なんとか間に合わせるべく、今、一生懸命頑張っております。

こうやって今でもソフトボールが楽しめるのは、弥生にソフトボール部があったお陰と、とても感謝しております。もちろん高校への感謝はこれだけではありませんけれども。

昨今は政府の支出削減、自治体も支出を削減しているせいか学校にもお金がない模様。同窓会からもロッカーを寄付したようです。このような活動に同窓会員への理解を深め更なる後輩への貢献ができればなあと思います。

先日は私も当番として、同窓会の懇親会を催させていただきました。参加していただいた皆さんは楽しめましたでしょうか？

来年以降更なる広がりを目指いたします。



和やかな雰囲気



懇親会アトラクション(太極拳)



◆平成26年度伊那弥生ヶ丘高校同窓会 事業報告◆

■ 事業

事業名	内 容
会報の発行	◇H25.9.25発行、会員・学校職員・在校生へ配布
会則の見直し	◇現行の会則について、組織の役割を明確化し、機能させるため検討を行い、改正案を作成した
会費制の充実	◇会費制の定着に向けて、終身会費制の導入等について検討した
支部活動支援	◇会費を集金した支部について、その額の20%を還元し、組織の充実等の資金として活用できるよう支援を行なった
母校の教育活動支援	◇教育諸活動への支援 ・クラブ活動助成 全国大会出場クラブへ激励金を贈った (器楽部 弓道部 男子ソフトボール部 フェンシング 少林寺拳法 将棋) ・その他の助成 学校備品の寄贈(生徒用ロッカー) 250万円相当 ◇卒業生への記念品(卒業証書ホルダー)の贈呈

■ 会議等 ○ 総会1回 ○ 支部長会3回 ○ 理事会7回 ○ 専門委員会8回

◆平成27年度伊那弥生ヶ丘高校同窓会 事業計画◆

母校では創立百周年を節目に新たな伝統を築き始め、同窓会においても記念事業の成功を足がかりとし、組織、活動の充実を目標に掲げて歩んでいます。

平成24年度より会費制を導入し、役員及び会員の皆様のご理解とご協力を頂きまして、大変多くの会費をいただくことができています。誠にありがとうございます。皆様のご大切なお気持ちに応えられますよう、導入の際に明記したように母校の教育活動支援、同窓会活動の充実等に大切に活用させていただきます。会費導入にあたりまして、皆様からお寄せいただきました様々なご意見を尊重し、またそれらについて充分討議して、組織の機能の充実を図り、会員、母校へ還元できる効果的な活動を推進していきます。

より多くの会員の皆様にご理解いただける同窓会となるべく努力してまいります。

■ 事業

事業名	内 容
会報の発行	◇年1回発行 ・会員に関心と理解を深めてもらうことを目的に同窓会の活動や支部の様子、学校の近況等を掲載する ・全会員、学校職員、在校生に配布する
支部活動支援	◇会費を集金した支部について、その額の20%を還元し、組織の充実等の資金として活用できるよう支援を行なう ◇支部組織を確立するための支援を行なう
母校の教育活動支援	◇教育諸活動への支援 ・クラブ活動助成 ・学力向上、進路希望実現のための支援事業への助成 ・その他必要な助成 ◇卒業生への記念品(卒業証書ホルダー)の贈呈
その他	◇専門委員会を中心に業務推進を行い、活動の充実と発展を図る ・講演会の開催 ・会則の改正 ・会費制の充実

■ 会議等 ○ 正副会長会 ・同窓会業務推進等全般について検討する
 ○ 常任理事会 ・同窓会活動を推進し、組織の確立を図る
 ・専門委員会を設置し、課題解決、効果的な活動の推進を行なう
 (会則、会費、教養文化、広報)
 ○ 理 事 会 各支部長により構成し、年1～2回開催する
 ○ 総 会 年1回開催し、事業、決算等の承認を行う

平成26年度伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会一般会計 決算書
(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

収入 10,748,907円
支出 8,039,605円
差引 2,709,302円 (次年度へ繰越)

収入の部 単位:円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1 繰越金	3,535,966	3,535,966	0	前年度より
2 会費	4,205,000	7,139,500	2,934,500	
1 会費	3,000,000	5,934,500	2,934,500	会員5,319人
2 入会金	1,205,000	1,205,000	0	新入生241名@5,000円
3 雑収入	1,034	73,441	72,407	預金利息、支部還元金寄付他
合計	7,742,000	10,748,907	3,006,907	

支出の部 単位:円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1 事務費	2,460,000	2,099,695	△ 360,305	
1 報酬	1,200,000	1,241,500	41,500	事務局職員賃金
2 事務用品費	200,000	331,699	131,699	消耗品等
3 光熱費	60,000	32,036	△ 27,964	ガス代、水道、灯油代
4 通信費	300,000	146,936	△ 153,064	郵送料、電話料等
5 印刷費	400,000	214,796	△ 185,204	帳票等印刷
6 雑費	300,000	132,728	△ 167,272	振込手数料等
2 交際費	200,000	120,728	△ 79,272	祝儀、香典、饗別他
3 会議費	50,000	78,995	28,995	支部長会他
4 旅費	100,000	163,760	63,760	支部長会、東京支部総会
5 事業費	4,400,000	5,281,587	881,587	
1 総会費	400,000	392,013	△ 7,987	懇親会補助、当番生お礼、需用費
2 講演会費	300,000	141,998	△ 158,002	総会講演会
3 会報発行費	1,100,000	902,962	△ 197,038	印刷費、郵送料
4 支部活動費	300,000	896,300	596,300	支部活動支援(集金分会費の20%)
5 記念品費	100,000	100,494	494	卒業生卒業証書ホルダー贈呈
6 クラブ関係費	200,000	130,000	△ 70,000	全国大会出場祝い金
7 教育活動支援費	2,000,000	2,717,820	717,820	教育諸活動支援(生使用ロッカー更新)
6 広告費	200,000	294,840	94,840	新聞広告代
7 予備費	332,000	0	△ 332,000	
合計	7,742,000	8,039,605	297,605	

△: 決算額が予算額より少ない場合

平成27年4月10日

監査の結果正確且つ適正に処理されていることを認めます。

監事 小松 富美子
監事 金沢 妙子



平成26年度伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会基金積立会計 決算書
(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

単位:円

前年度末基金額	今年度変動額				今年度末基金額	摘要
	積立額	取崩額	利息	計		
5,000,000	0	0	998	998	5,000,998	

平成27年度伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会一般会計 予算書
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

収入 7,935,000円
支出 7,935,000円
差引 0円

収入の部 単位:円

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
1 繰越金	2,709,302	3,535,966	△ 826,664	前年度より
2 会費	5,225,000	4,205,000	1,020,000	
1 会費	4,000,000	3,000,000	1,000,000	終身会費を含む
2 入会金	1,225,000	1,205,000	20,000	新入生245名@5,000円
3 雑収入	698	1,034	△ 336	預金利息他
合計	7,935,000	7,742,000	193,000	

支出の部 単位:円

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
1 事務費	3,450,000	2,460,000	990,000	
1 報酬	1,300,000	1,200,000	100,000	事務局職員賃金
2 事務用品費	300,000	200,000	100,000	消耗品等
3 光熱費	50,000	60,000	△ 10,000	ガス代、水道、灯油代
4 通信費	1,200,000	300,000	900,000	郵送料、電話料等
5 印刷費	400,000	400,000	0	帳票等印刷
6 雑費	200,000	300,000	△ 100,000	振込手数料等
2 交際費	130,000	200,000	△ 70,000	祝儀、香典、饗別他
3 会議費	80,000	50,000	30,000	支部長会他
4 旅費	150,000	100,000	50,000	支部長会、東京支部総会
5 事業費	3,100,000	4,400,000	△ 1,300,000	
1 総会費	450,000	400,000	50,000	懇親会補助、当番生経費、需用費
2 講演会費	500,000	300,000	200,000	総会講演会
3 会報発行費	500,000	1,100,000	△ 600,000	印刷費
4 支部活動費	400,000	300,000	100,000	支部活動支援(集金分会費の20%)
5 記念品費	100,000	100,000	0	卒業生卒業証書ホルダー贈呈
6 クラブ関係費	150,000	200,000	△ 50,000	全国大会出場祝い金
7 教育活動支援費	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	教育諸活動支援
6 広告費	300,000	200,000	100,000	新聞広告代
7 繰出金	700,000	0	700,000	特別会計(終身会費積立)へ
8 予備費	25,000	332,000	△ 307,000	
合計	7,935,000	7,742,000	193,000	

△: 予算額が前年度予算額より少ない場合

平成27年度伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会特別会計(終身会費積立) 予算書
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

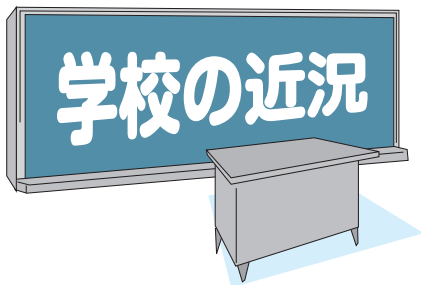
単位:円

前年度末積立額	今年度変動額				今年度末積立額見込額	摘要
	繰り入れ額	繰り出し額	利息	計		
0	700,000	0	10	0	700,010	

平成27年度伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会基金積立会計 予算書
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

単位:円

前年度末基金額	今年度変動額				今年度末基金額	摘要
	積立額	取崩額	利息	計		
5,000,998	0	0	502	502	5,001,500	



創立 104 年となった母校は、各学年 6 クラス、729 名の生徒が長年受け継がれてきた「自主自立・文武両道」を重んじ、日々学習、クラブ活動、生徒会活動などに熱心に取り組んでいます。

◆ 卒業生の進路状況 (平成 27 年 3 月)

進路先	進 学							就 職			その他			合 計
	国公立大	私立大	国公立短大	私立短大	医看専門	他専門	計	公務員	民間	計	浪人	その他	計	
男	5	67	1	1	3	9	86	1	2	3	12	1	13	102
女	16	77	2	12	11	14	132	1	2	3	4	0	4	139
計	21	144	3	13	14	23	218	2	4	6	16	1	17	241
合格延数	21	297	7	20	25	26	382	2	4	9				388



将来の進路を見据え、一人ひとりがしっかりと目標と意欲を持って日々努力しています。また、土曜休業完全実施の中で、休日における生徒の学習の機会の保障と学力向上、進路実現のため、学習室等を利用して「弥生塾」が設置されています。



◆ クラブ活動の状況

● 英 語 部

私たち英語部の普段の活動は ALT のクリス先生と英会話をしたり、英語でゲームをして楽しく活動しています。また一方で、ディベート大会やスピーチコンテストなど、大きな大会が近づくと、みんなで真剣にその準備に取り組みます。

主な出場大会は、提示された英文を覚えて発表するレシテーションコンテスト、「家族」というテーマでスピーチを作る BYU スピーチコンテスト、毎年出されるテーマについて調べて英語で討論をするディベート大会、プレゼンテーションやレシテーションなどを行う清泉女学院大学スピーチコンテストなどがあります。

また、5 月には、長野県中の英語好きな高校生が一堂に集う、プレゼンテーションコンテストや ALT の先生達とオールイングリッシュで行うゲームや交流などで盛りだくさんのイベント、イングリッシュキャンプにも参加しています！このイングリッシュキャンプは、クラブ員の絆が強まる大切なイベントでもあります。

どの大会も、去年は皆で努力したおかげで、いい成績をおさめることができました。今年もみんなでよい成績が出せるようにがんばっています。

また、弥生ヶ丘高校は毎年留学生が在籍し、とても国際的です。ときには留学生の母国の料理を皆で作って食べたりするパーティーもおこなったりすることもありました。このように私たちの部活は、外国の異文化にふれたりする活動も行っています。

私たち英語部では、これらの活動の一つ一つを通して、異文化を学ぶとともに、私たち自身の中にある、小さな異文化を受け入れ理解しながら、一つのことにみんなで楽しく取り組み、友情を深めることを大切にしています。



女子バスケットボール部

女バスは3年生7人、2年生8人、1年生3人の計18人で活動をしています。体育館で毎日練習をしています。日々の練習は決して楽なものではありませんが、つらい時には励ましあい、悪かったところを指摘しあいながら、上達しようと一丸となって頑張っています。そんな女バスの魅力は挨拶です。普段の生活での挨拶はもちろん、特に大会などの日に、多くの他校の先生や保護者、審判の方々に会います。そんな人たちに少しでも「応援してあげたい」と思ってもらえるように挨拶には特に力を入れています。

去年の女バスの大会成績は、新人戦で第3位、北信越出場という自分たちの目標を超える結果となりました。強豪校と戦える機会を得て、より成長できました。その経験を生かし、今年の夏の、どのチームが勝ち残ってもおかしくないくらい力の差が拮抗している大会で、自分たちのプレーが出せるよう『明るく謙虚に前向きに』を忘れずに頑張りたいです。



吹奏楽部

吹奏楽部は部員63名で毎日楽しく活動しています。同窓会の皆様には100周年記念事業の一環として楽器を寄贈していただきました。どうもありがとうございました。大切に使用させていただきます。



写真は平成27年3月に行われた「第25回定期演奏会」の様子です。25回の記念として、歴代OB、OG有志の皆様方にも参加していただくことが出来ました。弥生吹奏楽部では「アルメニアンダンスパートI」という曲を、第1回定期演奏会から必ず毎年演奏しています。今回はOB、OG、現役生徒合計80名以上のメンバーで、25回記念にふさわしい演奏をすることが出来ました。この定期演奏会は現役生にとってまたとない経験となりました。この経験を弥生祭のサマーコンサートや夏のコンクールに向けての活動に生かしていきたいと考えています。

今後とも応援よろしくお願ひ申し上げます。

本年度各大会の状況 (主な結果)

春季北信越地区高等学校野球大会 (南信地区大会)

- 野球部 優勝 (2季連続、3度目)
夏の選手権大会シード権獲得

高等学校総合体育大会 (南信大会)

- 陸上 (男子) 800M 2位・棒高跳び 2位
(女子) 100M障害 優勝・400Mリレー 優勝
1600Mリレー 優勝・7種競技 優勝
学校対抗 優勝 (37年ぶり)
400M 2位、棒高跳び 3位
砲丸投げ 3位
- テニス (女子) 団体 優勝 (5期連続)
シングルの優勝・3位、ダブルス 2位
- ソフトテニス (女子) 団体 2位
- バドミントン (女子) シングル 優勝
- バスケットボール (女子) 3位
- 弓道 (男子) 団体 3位
(女子) 団体 2位
- 剣道 (女子) 団体 2位
- 卓球 (女子) ダブルス 優勝

高等学校総合体育大会 (県大会)

- 陸上 (女子) 400M 優勝・400Mリレー 優勝・1600Mリレー 優勝
7種競技 3位
- テニス (女子) 団体 3位
- バスケットボール (女子) 2位
- ソフトボール (男子) 優勝
- 少林寺拳法 (女子・個人) 優勝

高等学校総合体育大会 (全国大会)

- ソフトボール (男子)
- 少林寺拳法 (女子・個人)

高等学校文化連盟 将棋選手権大会 (県大会)

- (女子) 個人 優勝

全国高等学校総合文化祭

- 将棋 (女子 個人)
- 器楽部

全国高等学校ギターマンドリン音楽コンクール

- 器楽部

平成27年度会費納入のお願い

今年度より終身会費制を導入します。別紙「会費に関する細則」をご覧ください。(ご不明な点は事務局までお問い合わせください。)

- **金額** <年会費>1,000円
<終身会費>25,000円(平成24年度から納めていただいている会費分は含めます。)
※年齢により特例措置あり
- **納入方法** <上伊那各支部>支部役員が訪問しますのでその際に納入してください。但し終身会費については同封の振込用紙にて郵便局よりお振り込みください。(手数料は同窓会負担)
<上記以外>同封の振込用紙にて郵便局よりお振り込みください。(手数料は同窓会負担)
- **納入期間** 平成27年11月30日までをお願いします。

終身会費制について

平成24年度より会費制を導入して3年が経過し、その間、会員の皆様から出していただきました多くのご意見について検討してまいりました。それらを踏まえて、支部役員の皆様の負担を減らし、より多くの方に納入事務に携わっていただくことで、同窓会をより理解していただき、会費制を効率よく運営し、継続していくために、ひとつの方法として終身会費制を導入します。

- ◆ **金額** 25,000円(年会費の納入金額の上限についても25,000円とする)
- ◆ **年齢による特別措置**
 - 60歳以上：10,000円
 - 70歳以上：5,000円
 - 80歳以上：免除(名誉会員とする)
 - 上記以外：25,000円となるまで逐次納入する
- ◆ **納入方法の追加**
 - ・ 総会当番学年の年(60歳時)に集金する。(10,000円)
 - ・ 会員の要望により、複数年分を一括納入(前納)できる。

会費制について

平成24年度より会費の納入をお願いしています。今年度新たに終身会費制を導入するに当たり、改めて会費制導入の経過、趣旨等を皆様にご理解いただきたいと思います。

〈経過、趣旨〉(会報第3号より)

本会は以前より新入生の入会金収入のみで運営されていたため、活発な活動を行うことができませんでした。百年を超える歴史にふさわしい活動ができる体制を確立していくためには会員の皆様から会費を納めていただき、同窓会の役割を果たしていくことが必要であると考えました。

平成21年度の総会において会費制導入について承認されました。但し時期については百周年事業の終了後に検討ということになり、平成24年度の総会において討議し、会費1,000円の納入が承認されました。

〈会費の用途〉(会報第3号より)

以前は新入生の入会金、一人当たり5,000円、年額約120万円で開催してきました。そのため年1回の総会の費用(会場費、講演会経費等)、通信費、光熱水費のほかは卒業生への卒業証書ホルダー贈呈と全国大会出場クラブへの祝い金を贈る程度となっています。

今後は次のような事業を行いたいと思います。

- ① 会報の発行
- ② 支部活動の支援
- ③ 同窓会主催による独自の講演会などの開催
- ④ クラブ活動の助成と教育活動の支援

会則改正のお知らせ

現行の会則は制定後、5回の改正を経て現在に至っています。平成23年度の創立百周年記念事業を実施以降組織も徐々に確立し、母校の教育支援事業、会報等の発行事業、また会費制導入等活動も少しずつ活発に、かつ定着し始めています。

このような変化に伴い、現実との若干の矛盾部分や組織が明確になっていない部分が見受けられるようになってきました。

今後さらに同窓会活動を活発に、積極的に展開し、母校の発展並びに会員相互の連携を積極的に図っていくことを目的として今回改正をいたしました。(別紙参照)

編集後記

「日常の小さなことに幸せを見出せる人であれ」という恩師の言葉が思い出されます。自然の事象や出会う方々から学ぶことは沢山あって、自分を磨きつつ心豊かな人でありたいと思うこの頃です。

伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会報 第6号 平成27年7月10日発行

発行人：伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会 同窓会長 小坂博子

〒396-0026 長野県伊那市西町 5703 TEL/FAX.0265-76-0615 E-mail : yayoidoso@heart.ocn.ne.jp

題 字：花岡多賀(旧姓：北林・高女36回)伊那市西春近在住

印 刷：有限会社マスマタ印刷